

学生の皆さんへ

授業実施に関するお願い
(新型コロナウイルス感染防止 緊急事態宣言発令を受けて)

対応：広島県では、5月16日～5月31日において新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が発令されるとの報道がありました。しかし、教育機関はその対象外となっております。

よって本校は感染防止対策に万全を期したうえで、授業を継続実施いたします。

ただし、文部科学省および広島県等から新たな措置の要請が発令された場合は、速やかに対応いたします。ついては学生の皆さんは、以下の項目について十分に注意をして取り組んでください。

1. 授業に関して

- (1) 登校直後に必ず検温をし記録してください。また必ずマスクを着用して授業を受けてください。
- (2) 授業中に体調不良(発熱、咳が続く等)・風邪症状が生じた場合は、授業途中であっても担当教員に申し出て教員室に行き、検温をしてください。この間、授業を退席しても出席扱いとします。
- (3) 体温測定結果
 - ① 体温が37.5度以上の場合
直ちに帰宅し、医療機関で受診しPCR検査を受けてください。なお検査判定結果を必ず学校に連絡をし、陽性判定の場合は医療機関(各区保健所等)の指示に従ってください。
※PCR検査受診可能場所：各医療機関、広島県PCR検査実施会場(P2参照)
 - ② 体温が37.5度未満の場合
 - ア.しばらく休息をとり授業復帰してください。
 - イ.早退を希望する場合は所定の手続きを行い早退してもよろしい。通常の早退扱いとなります。
新型コロナウイルスの感染が確認された場合は出席扱いとします。
- (4) 授業中は、窓の一部とドアを開けています。また授業中でも換気を実施します。
- (5) 実技等で学生同士の接触が多い授業では、マスクは必ず着用し、授業中でも手洗い・手指消毒をこまめに行ってください。
- (6) 授業終了後は、教室のすべての窓を開け、ドアを開けたままにし、十分に教室内の換気を行ってください。
- (7) 新型コロナウイルスによる感染に関して、他者に対して差別的な発言・対応は厳に慎んでください。

2. 日常生活に関して

- (1) 万一、学生の皆さんの身近なところで感染者が報告された場合や、感染者との濃厚接触が疑われる場合は、ただちに学校に連絡し、PCR検査を受けてください。
- (2) 新型コロナウイルス変異株については、若年層の人々が感染源になっていることも報告されています。感染が終息を迎えるまでは、日常生活については別紙「新しい生活様式」を再確認してください。

広島県 PCR 検査実施場所および開設時間

(1) 中央新天地集会所

開設日 : 毎日

開設時間 : 11 時 00 分から 15 時 00 分まで

住所 : 広島市中区新天地 7-9 (駐車場はありません。)

※ウォークイン方式となります。

(2) 観音マリーナ駐車場

開設日 : 毎日

開設時間 : 11 時 00 分から 15 時 00 分まで

住所 : 広島市西区観音新町 4 丁目 16

※ドライブスルー方式となります。

■対象者

○県内全域 (23 市町) の住民またはお勤めの方

■検査について

○検査内容 : 唾液を使った検査で、所要時間 10~15 分程度です。(個人差があります。)

○検査料 : 無料

■受検方法について

完全予約制となっておりますので、事前に電話で予約してください。

○予約受付時間

10 時 00 分~15 時 00 分

○電話番号 (全検査場共通)

050-1741-6373<代表番号>

※予約受付開始直後のお時間はお電話が混みあっています。繋がりにくい場合は、お手数ですが、少し時間を空けておかけ直してください。

○予約時に必要な情報

希望検査会場、氏名、連絡先、受検人数、対象かどうか等の確認を行います。

※個人情報、この検査の実施に係る業務にのみ使用し、厳重に管理します。

■検査を希望される方へのお願い

○必ず事前に予約してください。

○検査を受ける 30 分前から、飲食、うがい、歯磨きは行わないでください。

○広島 PCR センターは、高齢者施設等のクラスター防止と飲食店での感染拡大防止を目的に行うものであるため、陰性証明は発行されませんので、ご注意ください。

○各検査会場について、新型コロナウイルス感染症予防の観点から会場内のお手洗いは利用できません。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成